

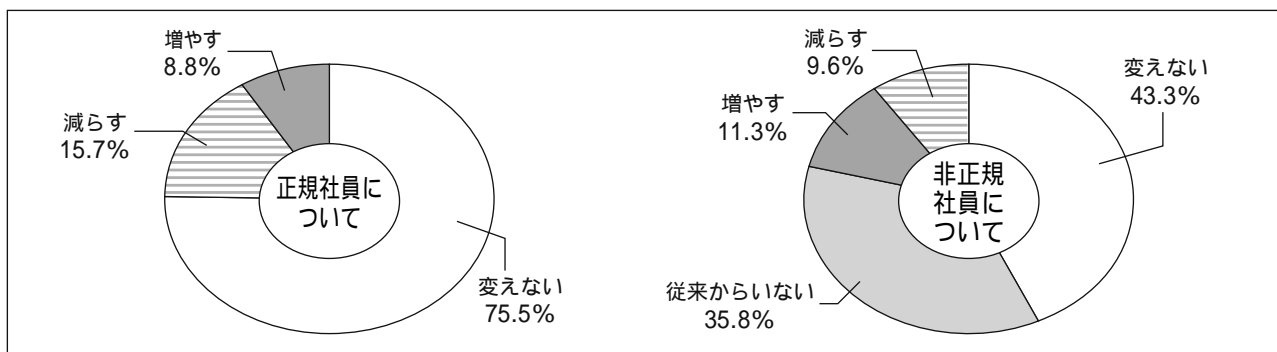
## 世界同時不況下における 中小企業の雇用戦略

今回の景気後退は、アメリカのサプライ問題、住宅価格の下落から起こり、この影響が大きく広がり世界規模の不況まで発展しました。そのような中、中小の経営者の皆様に「世界同時不況下における中小企業の雇用戦略」についてお聴きいたしました。（回答数387先）

「今後1、2年程度の正規社員・非正規社員の雇用について、どのように対応する方針ですか」について  
**正規社員については・・・「変えない」が75.5%**  
**非正規社員については・・・「変えない」が43.3%**

「今後1、2年程度の正規社員・非正規社員の雇用について、どのように対応する方針ですか」については、正規社員の雇用は、「変えない」が75.5%と最も回答が多く、次いで「減らす」が15.7%となり、「増やす」の回答は8.8%となりました。

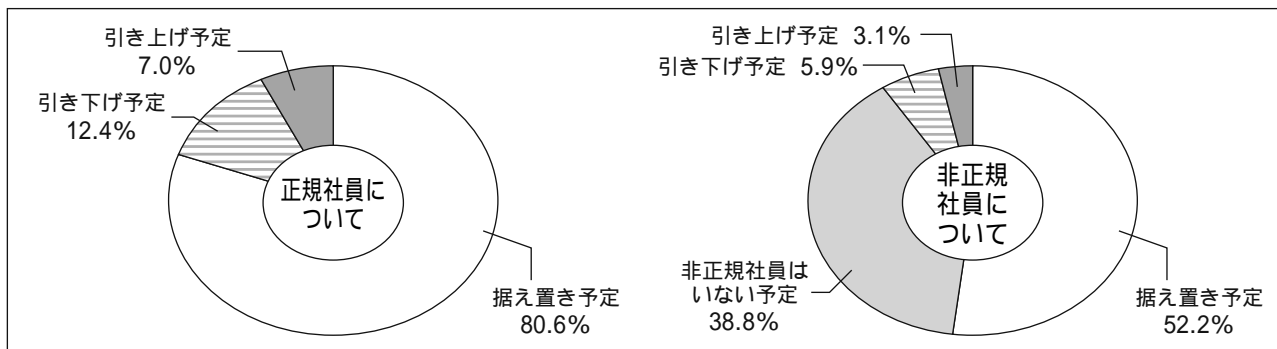
非正規社員の雇用は、「変えない」が43.3%と最も回答が多く、次いで「従来からいない」が35.8%、「増やす」が11.3%、「減らす」が9.6%となりました。



「今後1年程度の間の、賃金改定の方向性」について  
**正規社員の賃金(賞与含む)・・・「据え置き予定」が80.6%**  
**非正規社員の賃金改定は・・・「据え置き予定」が52.2%**

「今後1年程度の間の、賃金改定の方向性」については、正規社員の賃金(賞与含む)は「据え置き予定」が80.6%と最も回答が多く、次いで「引き下げ予定」が12.4%、「引き上げ予定」が7.0%となりました。

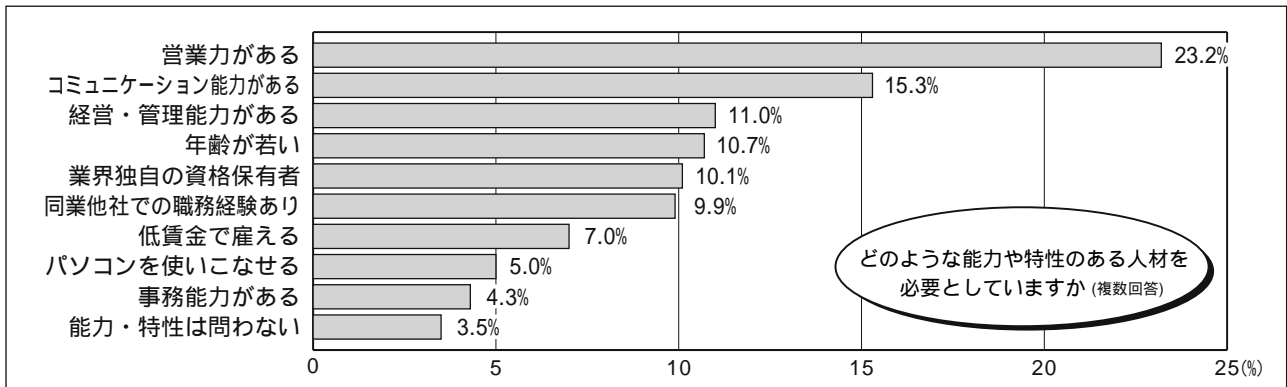
非正規社員の賃金改定は「据え置き予定」が52.2%と最も回答が多く、次いで「非正規社員はいない予定」が38.8%、「引き下げ予定」が5.9%となり、「引き上げ予定」が3.1%となりました。



「どのような能力や特性のある人材を必要としていますか」について  
**・・・「営業力がある」が23.2% <複数回答>**

「どのような能力や特性のある人材を必要としていますか」については、「営業力がある」が23.2%と最も回答が多く、次いで「コミュニケーション能力がある」が15.3%、「経営・管理能力がある」が11.0%、「年齢が若い」

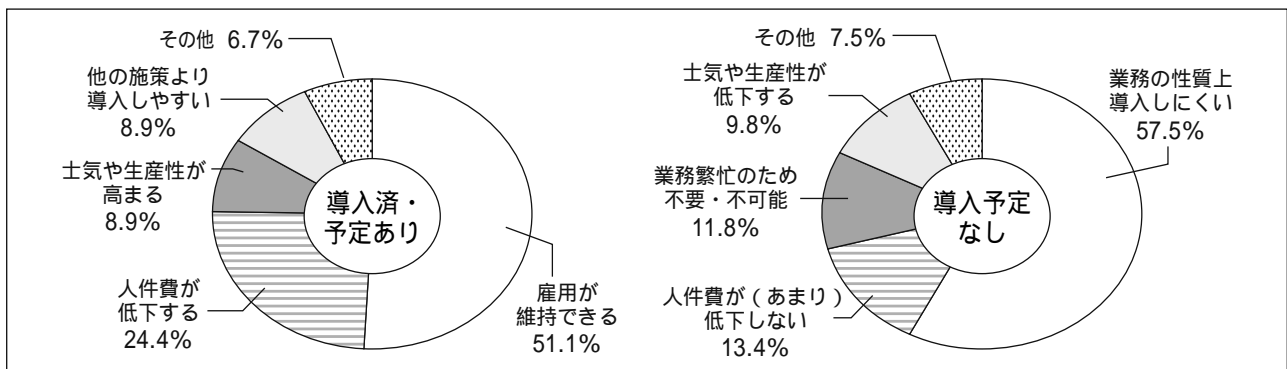
が10.7%、「業界独自の資格保有者」が10.1%、「同業他社での職務経験あり」が9.9%、「低賃金で雇える」が7.0%、「パソコンを使いこなせる」が5.0%、「事務能力がある」が4.3%、「能力・特性は問わない」が3.5%となりました。



## ワークシェアリング(1人当たり労働時間を減らすことで、雇用を維持すること)について 導入済・導入予定の理由・・・「雇用が維持できる」が51.1% 導入予定がない理由・・・「業務の性質上導入しにくい」が57.5%

「ワークシェアリング(1人当たり労働時間を減らすことで、雇用を維持すること)」については、導入済・導入予定の理由は「雇用が維持できる」が51.1%と最も回答が多く、次いで「人件費が低下する」が24.4%、「士気や生産性が高まる」「他の施策より導入しやすい」が8.9%となりました。

導入予定がない理由は「業務の性質上導入しにくい」が57.5%と最も回答が多く、次いで「人件費が(あまり)低下しない」が13.4%、「業務繁忙のため不要・不可能」が11.8%、「士気や生産性が低下する」が9.8%となりました。



## 「中小企業が雇用を維持・拡大していくためには、行政面でどのような取組みやサポートが求められると思われますか」については・・・「社会保険料負担の軽減」が23.5% <複数回答>

「中小企業が雇用を維持・拡大していくためには、行政面でどのような取組みやサポートが求められると思われますか」については、「社会保険料負担の軽減」が23.5%と最も回答が多く、次いで「各種税制の優遇」が21.6%、「雇用助成金制度の充実」が15.7%、「公共事業の拡大」が10.6%、「緊急融資等資金繰りの支援」が8.7%、「雇用に関する規制の緩和」が7.5%、「行政には期待していない」が6.4%、「人材能力開発への補助」が3.8%、「新分野参入への障壁の撤廃」が1.2%となりました。

